

令和 4 年 6 月定例記者会見 市長原稿（議案関係）

皆さま方には、平素より市政運営にご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。それでは 6 月 8 日開会の裾野市議会 6 月定例会に提出いたします議案につきまして、私からご説明申し上げます。

提出いたします議案は、報告案件 5 件、承認案件 3 件、諮問案件 1 件、条例案件 8 件、補正予算 2 件、その他 1 件の合計 20 件であります。

それでは先ず、第 47 号議案 令和 4 年度裾野市一般会計補正予算（第 3 回）につきまして、ご説明申し上げます。議案書別冊 19 ページ、並びに補正予算（第 3 回）説明書を合わせてご覧ください。

今回の補正は、既定の予算総額に 1 億 9,600 万円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ 202 億 4,400 万円とするものであります。

歳入の主なものは、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金をはじめとする国庫支出金が 9,823 万 8,000 円の増額、移住・就業支援事業交付金をはじめとする県支出金が 252 万円の増額、コミュニティ助成事業助成金として諸収入が 610 万円の増額などです。加えて市税収入としまして、入湯税を新設するものであります。

歳出につきましては、主な事業をご説明申し上げます。

まず、新型コロナウイルス感染症対応として、国の地方創生臨時交付金を活用し、新たにタクシー事業者支援のための補助金 140 万円を計上するとともに、引き続き、裾野赤十字病院医療機器整備費補助金を 1,000 万円、医師会・歯科医師会への交付金を 1,320 万円増額します。

次に、ウィズコロナでの交流人口増加や地域経済を回す起爆剤として、例年のすその夏祭りに代わる新たなイベントを開催するための事業費補助として 600 万円を計上します。お祭りには、街の賑わいや市民の一体感を醸成する力があると確信しております。行財政構造改革を進めている最中であり、また新型コロナウイルス感染症も完全に収束したわけではないため、これまでどおりの規模での開催とはなりません。ウィズコロナにふさわしいお祭りにしてまいります。

次に、市民文化センター改修工事につきまして、利用者の安全を最優先として、そのうえで、大ホールの休止期間を極力短縮させることに方針を転換し、工事内容の変更により 2,969 万 3,000 円を減額いたします。

このほかに、新たに犯罪被害者のご遺族、又は犯罪により重傷病を負った方に支給する犯罪被害者等見舞金を 40 万円、国において積極的な勧奨を再開した子宮頸がんワクチン

接種事業に 2,532 万 2,000 円、民間認定こども園の施設整備に対する補助金について、民生費と教育費を合わせて 4,103 万 5,000 円を増額いたします。

補正予算以外の議案といたしまして、第 38 号議案 裾野市犯罪被害者等支援条例の一部を改正することにつきましては、補正予算でもご説明したとおり、犯罪被害者等に対し見舞金を支給するため、本条例の一部を改正するものであります。

その他の議案につきましては、お配りした資料をご覧くださいと思います。